

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄								備考	
計画の区分	大学院の設置									
フリガナ設置者	ガッコウホウジン タカギガクエン 学校法人 高木学園									
フリガナ大学の名称	フクオカコクサイイリョウフクシダイガクダイガクイン 福岡国際医療福祉大学大学院 (Fukuoka International University of Health and Welfare Graduate School)									
大学本部の位置	福岡県福岡市早良区百道浜3丁目6番40号									
大学の目的	福岡国際医療福祉大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、「生命の尊厳、生命の平等」を建学の精神とし、病める人も、障害を持つ人も、健康な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指すとともに、保健医療福祉に関する理論と応用の教授研究を行い、幅広く深い教養および総合的判断力を培い、豊かな人間性を涵養し、保健医療福祉に関する指導者とその専門従事者を養成し、地域医療はもとより国際社会にも貢献し得る有能な人材を養成することを目的とする。									
新設研究科等の目的	本大学院は、建学の精神に基づき、保健医療福祉に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展と健康・福祉の向上に寄与する人材を養成することを目的とする。									
新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	【基礎となる学部】 医療学部 理学療法学科 作業療法学科 視能訓練学科 看護学部 看護学科
	保健医療学研究科 [Graduate School of Medical and Health Science]	年	人	年次人	人			年月 第 年次		
	保健医療学専攻 修士課程 [School of Medical and Health Science]	2	8	—	16	修士 (保健医療学) [Master of Medical and Health Science]	保健衛生学関係 (看護学関係、 リハビリテーション関係)	令和7年4月 第1年次	福岡県福岡市早良区百道浜2丁目4番16号 (2号館)	
計			8	—	16					
同一設置者内における変更 (定員の移行、名称の変更等)	なし									
教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数				修了要件単位数				
	保健医療学研究科保健医療学専攻修士課程	講義	演習	実験・実習	計	30 単位				
		27 科目	24 科目	0 科目	51 科目					
研究科等の名称		専任教員					助手	専任教員以外の教員 (助手を除く)		
		教授	准教授	講師	助教	計				
新設分	保健医療学研究科	8 (8)	2 (2)	7 (7)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	7 (7)		
	保健医療学専攻修士課程									
	計	8 (8)	2 (2)	7 (7)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	7 (7)		
既設分	なし	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
	計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
合計		8 (8)	2 (2)	7 (7)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	7 (7)		

職 種		専 属	その他	計	大学全体					
事 務 職 員		47 (44)	0 (0)	47 (44)	大学全体					
技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)						
図 書 館 職 員		3 (3)	0 (0)	3 (3)						
そ の 他 の 職 員		13 (12)	0 (0)	13 (12)						
指 導 補 助 者		0 (0)	0 (0)	0 (0)						
計		63 (59)	0 (0)	63 (59)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	22,335.79 m ²	0 m ²	0 m ²	22,335.79 m ²	借用面積： 9,909.25 m ² 借用期間：30年				
	そ の 他	532.00 m ²	0 m ²	0 m ²	532.00 m ²	その他は本館敷地 11,558 m ² のうち福 祉施設相当分				
	合 計	22,867.79 m ²	0 m ²	0 m ²	22,867.79 m ²					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
		25,101.41 m ² (25,101.41 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	25,101.41 m ² (25,101.41 m ²)	借用面積 7,775.11 m ² 借用期間：30年				
講義室等・新設研究科等 の専任教員研究室		講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の 専任教員研究室	実験・実習室と演 習室は大学全体。 研究室15室中4室 共同。				
		3 室	45 室	17 室	15 室					
図 書 ・ 設 備	新設研究科等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具	標本	大学全体		
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点			
	保健医療学研究科 保健医療学専攻 修士課程	32,367 [1,052] (30,797 [982])	8,500 [0] (7,496 [0])	337 [72] (316 [62])	5,433 [3,749] (5,433 [3,749])	3,695 (3,392)	37 (37)			
	計	32,367 [1,052] (30,797 [982])	8,500 [0] (7,496 [0])	337 [72] (316 [62])	5,433 [3,749] (5,433 [3,749])	3,695 (3,392)	37 (37)			
経 費 の 積 累 及 び 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	大学全体	
		教員1人当り研究費等		400千円	400千円	千円	千円	千円		図書費には電子 ジャーナル、データベース の整備費(運用コス ト含む)を含む
		共同研究費等		1,000千円	1,000千円	千円	千円	千円		
		図書購入費	10,983千円	9,482千円	9,482千円	千円	千円	千円		
	設備購入費	220,172千円	24,984千円	0千円	千円	千円	千円			
	学生1人当り 納付金			第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次		
学生納付金以外の維持方法の概要			1,100千円	800千円	千円	千円	千円	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入ほか		

既設大学等の状況	大学等の名称	福岡国際医療福祉大学					収容定員率 充 足 率 倍	開設 年度	所 在 地	
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号				
	福岡国際医療福祉大学	年	人	年次 人	人		平成31			
	医療学部						1.08	平成31		
	理学療法学科	4	40	—	160	学士 (理学療法学)	1.11	平成31	福岡県福岡市 早良区百道浜 3丁目6番40号 (本館)	令和5年4月1日開 設
	作業療法学科	4	40	—	160	学士 (作業療法学)	1.09	平成31		
	視能訓練学科	4	40	—	160	学士 (視能訓練学)	1.04	平成31		
	言語聴覚学科	4	40	—	80	学士 (言語聴覚学)	1.02	令和5		
	診療放射線学科	4	60	—	60	学士 (診療放射線学)	—	令和6		令和6年4月1日開 設
	看護学部						1.06	平成21		令和3年4月1日よ り、国際医療福祉 大学から福岡国際 医療福祉大学へ設 置者変更。併せて 福岡看護学部から 看護学部へ学部名 称変更
	看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.06	平成21	福岡県福岡市早良区 百道浜1丁目7番4号 (1号館)	
	附属施設の概要	該当なし								

学校法人高木学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
福岡国際医療福祉大学			
医療学部			
理学療法学科	40	—	160
作業療法学科	40	—	160
視能訓練学科	40	—	160
言語聴覚学科	40	—	160
診療放射線学科	60	—	240
看護学部			
看護学科	100	—	400
計	320	—	1,280
専門学校柳川リハビリテーション学院			
理学療法学科	40	—	120
作業療法学科	40	—	120
言語聴覚学科	40	—	120
計	120	—	360
大川看護福祉専門学校			
看護学科	40	—	120
介護福祉学科	40	—	80
計	80	—	200
専門学校福岡医療経営学院			
医療事務科	40	—	80
診療情報管理専攻科	40	—	40
計	80	—	120

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
福岡国際医療福祉大学				
大学院				大学院新設
保健医療学研究科				
保健医療学専攻	8	—	16	
医療学部				
理学療法学科	40	—	160	
作業療法学科	40	—	160	
視能訓練学科	40	—	160	
言語聴覚学科	40	—	160	
診療放射線学科	60	—	240	
看護学部				
看護学科	100	—	400	
計	328	—	1,296	
専門学校柳川リハビリテーション学院				
理学療法学科	40	—	120	
作業療法学科	40	—	120	
言語聴覚学科	40	—	120	
計	120	—	360	
大川看護福祉専門学校				
看護学科	40	—	120	
介護福祉学科	40	—	80	
計	80	—	200	
専門学校福岡医療経営学院				
医療事務科	40	—	80	
診療情報管理専攻科	40	—	40	
計	80	—	120	

教育課程等の概要																		
（大学院保健医療学研究科保健医療学専攻修士課程（M））																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員 (助手を除く)		
共通 教育分野	研究倫理特論	1・2前		1			○			1								
	医療統計特論	1・2前		2			○								1			
	データ解析特論	1・2後		2			○								1			
	研究方法特論	1・2後		2			○								1			
	社会調査法特論	1・2後		2			○								1			
	組織運営管理特論※1	1・2後		1			○			1								
	多職種連携特論※1	1・2後		1			○			1								
	臨床実習指導特論	1・2前		1			○			1								
	教育方法学特論	1・2後		2			○									1		
	教育評価学特論	1・2前		2			○									1		
保健 医療分野	科学的思考	1・2前		2			○										1	
	感覚と心理特論	1・2前		2			○											1
	認知神経科学特論	1・2後		2			○											1
	医療栄養学特論	1・2前		1			○			1								
	認知心理学特論	1・2後		1			○											1
	脳と科学	1・2後		1			○											1
	国際保健医療特論	1・2前		2			○											1
	高次脳機能特論	1・2後		1			○											1
	予防医学特論	1・2後		1			○			1								
小計（19科目）		—	—	1	28	0	—	—	5	0	0	0	0	0	6			
専門	理学療法学講義Ⅰ（基礎）	1前		2			○			2	1	3						
	理学療法学講義Ⅱ（応用）	1後		2			○			2	1	3						
	理学療法学演習Ⅰ（基礎）	1後		2				○		2	1	3						
	理学療法学演習Ⅱ（応用）	2前		2				○		2	1	3						
	理学療法学研究指導Ⅰ（研究計画）	1前		2				○		2	1	3						
	理学療法学研究指導Ⅱ（データ収集）	1後		2				○		2	1	3						
	理学療法学研究指導Ⅲ（データ分析）	2前		2				○		2	1	3						
	理学療法学研究指導Ⅳ（論文作成）	2後		2				○		2	1	3						
小計（8科目）		—	—	0	16	0	—	—	2	1	3	0	0	0				
科 目	作業療法学講義Ⅰ（基礎）	1前		2			○			2	1	1						
	作業療法学講義Ⅱ（応用）	1後		2			○			2	1	1						
	作業療法学演習Ⅰ（基礎）	1後		2				○		2	1	1						
	作業療法学演習Ⅱ（応用）	2前		2				○		2	1	1						
	作業療法学研究指導Ⅰ（研究計画）	1前		2				○		2	1	1						
	作業療法学研究指導Ⅱ（データ収集）	1後		2				○		2	1	1						
	作業療法学研究指導Ⅲ（データ分析）	2前		2				○		2	1	1						
	作業療法学研究指導Ⅳ（論文作成）	2後		2				○		2	1	1						
小計（8科目）		—	—	0	16	0	—	—	2	1	1	0	0	0				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員			
専門科目 (つづき)	視能訓練学分野	視能訓練学講義Ⅰ(基礎)	1前		2			○			1		1						
		視能訓練学講義Ⅱ(応用)	1後		2			○			1		1						
		視能訓練学演習Ⅰ(基礎)	1後		2				○			1		1					
		視能訓練学演習Ⅱ(応用)	2前		2				○			1		1					
		視能訓練学研究指導Ⅰ(研究計画)	1前		2				○			1		1					
		視能訓練学研究指導Ⅱ(データ収集)	1後		2				○			1		1					
		視能訓練学研究指導Ⅲ(データ分析)	2前		2				○			1		1					
		視能訓練学研究指導Ⅳ(論文作成)	2後		2				○			1		1					
	小計(8科目)	—	—		0	16	0				1		1	0	0	0			
	看護学分野	看護学講義Ⅰ(基礎)	1前			2			○			2		2					
		看護学講義Ⅱ(応用)	1後			2			○			2		2					
		看護学演習Ⅰ(基礎)	1後			2				○			2		2				
		看護学演習Ⅱ(応用)	2前			2				○			2		2				
		看護学研究指導Ⅰ(研究計画)	1前			2				○			3		2				
		看護学研究指導Ⅱ(データ収集)	1後			2				○			3		2				
		看護学研究指導Ⅲ(データ分析)	2前			2				○			3		2				
看護学研究指導Ⅳ(論文作成)		2後	2					○			3		2						
小計(8科目)	—	—	0	16		0				3		2	0	0	0				
合計(51科目)		—	—	1		92	0				8	2	7	0	0	6			
学位又は称号	修士(保健医療学)			学位又は学科の分野			保健衛生学(看護学関係、リハビリテーション関係)												
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等											
卒業要件 30単位以上 共通科目から必修1単位、選択必修1単位。 分野必修16単位、共通選択12単位以上を修得した上で、修士論文を提出し、審査に合格すること。								1学年の学期区分				2期							
								1学期の授業期間				前後期:15週							
								1時限の授業の標準時間				90分							

教 育 課 程 等 の 概 要																
（大学院保健医療学研究科保健医療学専攻修士課程（M））																
科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員
共通 教育 分野	研究倫理特論	1・2前	/	1			○			1						
	医療統計特論	1・2前		2			○							1		
	データ解析特論	1・2後		2			○							1		
	研究方法特論	1・2後		2			○							1		
	社会調査法特論	1・2後		2			○							1		
	組織運営管理特論	1・2後		1			○			1						
	多職種連携特論	1・2後		1			○			1						
	臨床実習指導特論	1・2前		1			○			1						
	教育方法学特論	1・2後		2			○							1		
	教育評価学特論	1・2前		2			○							1		
科 目 保健 ・ 医 療 分 野	科学的思考	1・2前		/	2			○							1	
	感覚と心理特論	1・2前			2			○							1	
	認知神経科学特論	1・2後			2			○							1	
	医療栄養学特論	1・2前			1			○			1					
	認知心理学特論	1・2後			1			○							1	
	脳と科学	1・2後			1			○							1	
	国際保健医療特論	1・2前			2			○							1	
	高次脳機能特論	1・2後			1			○							1	
	予防医学特論	1・2後			1			○			1					
小計（19科目）		—	—		1	28	0	—	—	—	5	0	0	0	0	6
専 門 理 学 療 法 学 分 野	理学療法学講義Ⅰ（基礎）	1前	/		2			○			2	1	3			
	理学療法学講義Ⅱ（応用）	1後			2			○			2	1	3			
	理学療法学演習Ⅰ（基礎）	1後			2				○		2	1	3			
	理学療法学演習Ⅱ（応用）	2前			2				○		2	1	3			
	理学療法学研究指導Ⅰ（研究計画）	1前			2				○		2	1	3			
	理学療法学研究指導Ⅱ（データ収集）	1後			2				○		2	1	3			
	理学療法学研究指導Ⅲ（データ分析）	2前			2				○		2	1	3			
	理学療法学研究指導Ⅳ（論文作成）	2後			2				○		2	1	3			
	小計（8科目）				—	—	0	16	0	—	—	2	1	3	0	0
科 目 作 業 療 法 学 分 野	作業療法学講義Ⅰ（基礎）	1前		/	2			○			2	1	1			
	作業療法学講義Ⅱ（応用）	1後			2			○			2	1	1			
	作業療法学演習Ⅰ（基礎）	1後			2				○		2	1	1			
	作業療法学演習Ⅱ（応用）	2前			2				○		2	1	1			
	作業療法学研究指導Ⅰ（研究計画）	1前			2				○		2	1	1			
	作業療法学研究指導Ⅱ（データ収集）	1後			2				○		2	1	1			
	作業療法学研究指導Ⅲ（データ分析）	2前			2				○		2	1	1			
	作業療法学研究指導Ⅳ（論文作成）	2後			2				○		2	1	1			
	小計（8科目）				—	—	0	16	0	—	—	2	1	1	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外 の教員			
専門科目 (つづき)	視能訓練学分野	視能訓練学講義Ⅰ(基礎)	1前		2			○			1		1						
		視能訓練学講義Ⅱ(応用)	1後		2			○			1		1						
		視能訓練学演習Ⅰ(基礎)	1後		2				○			1		1					
		視能訓練学演習Ⅱ(応用)	2前		2				○			1		1					
		視能訓練学研究指導Ⅰ(研究計画)	1前		2				○			1		1					
		視能訓練学研究指導Ⅱ(データ収集)	1後		2				○			1		1					
		視能訓練学研究指導Ⅲ(データ分析)	2前		2				○			1		1					
		視能訓練学研究指導Ⅳ(論文作成)	2後		2				○			1		1					
	小計(8科目)	—	—		0	16	0		—			1		1	0	0	0		
	看護学分野	看護学講義Ⅰ(基礎)	1前			2			○			2		2					
		看護学講義Ⅱ(応用)	1後			2			○			2		2					
		看護学演習Ⅰ(基礎)	1後			2				○			2		2				
		看護学演習Ⅱ(応用)	2前			2				○			2		2				
		看護学研究指導Ⅰ(研究計画)	1前			2				○			3		2				
		看護学研究指導Ⅱ(データ収集)	1後			2				○			3		2				
		看護学研究指導Ⅲ(データ分析)	2前			2				○			3		2				
		看護学研究指導Ⅳ(論文作成)	2後			2				○			3		2				
小計(8科目)	—	—	0	16		0		—			3		2	0	0	0			
合計(51科目)		—	—	1		92	0		—		8	2	7	0	0	6			
学位又は称号	修士(保健医療学)			学位又は学科の分野			保健衛生学												
卒業・修了要件及び履修方法							授業期間等												
卒業要件 30単位以上 共通科目から必修1単位。 分野必修16単位、共通選択13単位以上を修得した上で、修士論文を提出し、審査に合格すること。							1学年の学期区分		2期										
							1学期の授業期間		前後期:15週										
							1時限の授業の標準時間		90分										

教育課程等の概要																			
(医療学部 理学療法学科)																			
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹(助手を除く)教員			
人間系	心理学	1前	/	2			○							1					
	哲学	1・2・3・4前			1			○								1			
	倫理学	1・2・3・4後			1			○								1			
	文学	1・2・3・4前			1			○								1			
	教育学	1・2・3・4後			2			○								1			
	教育方法論	1・2・3・4後			2			○								1			
	コミュニケーション概論	1・2・3・4後			2			○								1			
	死生学-死を通して生を考える	4前			2			○								1			
	雑談と傾聴-話す力と聞く力	1・2・3・4前			2			○								1			
	雑談と傾聴-話す力と聞く力	1・2・3・4前			2			○								1			
	日本近現代史	1・2・3・4後			2			○								1			
	宗教学	1・2・3・4後			2			○								1			
	社会系	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)		2前	/	1			○				1					3	共同
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習)		2・3前・後		2					○		1	1				13	
		アジア比較文化論		1・2・3・4前			1			○								1	
法学		1・2・3・4前		1				○							1				
経済学		1・2・3・4後		1				○							1				
社会学		1・2・3・4前		1				○							1				
国際医療福祉論		1・2・3・4後		2				○							1				
社会保障制度論		1前	2					○							1				
ボランティア論		1・2・3・4後		1				○							1				
ボランティア実践		1・2・3・4後		1						○		1			4				
自然・情報系	生物学	1前	/	2			○							1					
	生化学	1前		2			○							1					
	物理学	1・2・3・4前		2			○							1					
	データサイエンス	1後		2			○					1							
	医療とICT	1後		2			○					1							
	生命倫理	1後		2			○							1					
	人間工学	1・2・3・4前		2			○							1					
	医学・医療史	1・2・3・4前		2			○				1								
総合系	健康科学理論	1・2・3・4前	/	1			○							1	共同				
	健康スポーツ実践	1・2・3・4後		1					○					1					
	大学入門講座	1前		1			○				1			4					
外国語系	医学英語Ⅰ	1前	/	1			○							1					
	医学英語Ⅱ	1後		1			○							1					
	英語(基礎)	1・2・3・4前		1			○							1					
	英語(応用)	1・2・3・4後		1			○							1					
	英会話	1・2・3・4後		1			○		○					1					
	韓国語*	1後		2			○							1					
	中国語*	1後		2			○							1					
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1			○							1					
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1			○							1					
	日本語Ⅲ	1・2・3・4前		1			○							1					
日本語Ⅳ	1・2・3・4後	1			○							1							
小計(41科目)(留学生+4科目)				-	-	16(20)	48	-	-	-	3	1	4	-	-	43			
専門基礎科目	解剖学Ⅰ	1前	/	1			○								1	共同			
	解剖学Ⅱ	1後		1			○								1				
	解剖学実習	1通年		1					○						1				
	生理学Ⅰ	1前		1				○							1				
	生理学Ⅱ	1後		1				○							1				
	生理学実習	1後		1					○			1			3				
	病理学	1後		1				○							1				
	臨床医学概論	2前		2				○			1				1				
	公衆衛生学	1・2・3後		2				○							1				
	リハビリテーション医学	1後		1				○							1				
	内科学Ⅰ	2前		1				○			1				1				
	内科学Ⅱ	2後		1				○			1				1				
	神経学Ⅰ	2前		1				○							1				
	神経学Ⅱ	2後		1				○							1				
	整形外科Ⅰ	2前		1				○			1				1				
	整形外科Ⅱ	2後		1				○							1				
	精神医学Ⅰ	2前		1				○							1				
	精神医学Ⅱ	2・3後		1				○							1				
	小児科学	2前		1		1		○							1				
	老年学	2後		1				○							1				
	人間発達学	1前		2				○							1				
	臨床心理学概論	2前		2				○							1				
	救急医学	2前		1				○							1				
	基礎薬理学	1後		1				○							1				
	栄養学	1・2・3後		1				○							1				
	カウンセリング論	1・2・3前		1				○							1				
	リスクマネジメント論	3前		2				○							1				
	ケアマネジメント論	1・2・3前		1				○							1				
	医用画像診断学	3後		1				○							1				
	運動学Ⅰ	1前		1				○							1				
	運動学Ⅱ	1後		1				○					1		1				
	運動生理学	2前		1				○							1				
運動学実習	2前	1						○		1			1						
リハビリテーション概論	1前	2				○				1			7						
保健医療福祉制度論	1・2・3前	2				○							1						
関連職種連携論	2後	1				○							4						
関連職種連携ワーク	3前	1						○					19						
小計(37科目)				-	-	34	10	-	-	-	4	-	2	-	-	43			

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要																	
(医療学部 作業療法学科)																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		基 幹 教 員 以 外 の 教 員	
人間系	心理学	1前	/	2			○							1			
	哲学	1・2・3・4前		1			○								1		
	倫理学	1・2・3・4後		1			○								1		
	文学	1・2・3・4前		1			○								1		
	教育学	1・2・3・4後		2			○								1		
	教育方法論	1・2・3・4後		2			○								1		
	コミュニケーション概論	1・2・3・4後		2			○								1		
	死生学-死を通して生を考える	4前		2			○								1		
	雑談と傾聴-話す力と聞く力-	1・2・3・4前		2			○								1		
	日本近現代史	1・2・3・4後		2			○								1		
	宗教学	1・2・3・4後		2			○								1		
	社会系	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）		2前	1			○								3	共同
		海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		2・3前・後	2					○	1	1	1			11	
		アジア比較文化論		1・2・3・4前		1			○							1	
法学		1・2・3・4前		1			○							1			
経済学		1・2・3・4後		1			○							1			
社会学		1・2・3・4前		1			○							1			
国際医療福祉論		1・2・3・4後		2			○							1			
社会保障制度論		1前	2				○							1			
ボランティア論		1・2・3・4後		1			○							1			
ボランティア実践		1・2・3・4後		1					○					1			
自然・情報系	生物学	1前	/	2			○							1			
	生化学	1前		2			○							1			
	物理学	1・2・3・4前		2			○							1			
	データサイエンス	1後		2			○							1			
	医療とICT	1後		2			○							1			
	生命倫理	1後		2			○							1			
	人間工学	1・2・3・4前			2			○						1			
総合系	医学・医療史	1・2・3・4前		2			○						1				
	健康科学理論	1・2・3・4前		1			○						1				
総合系	健康スポーツ実践	1・2・3・4後		1					○				1				
	大学入門講座	1前	1				○			1	1		4	共同			
	メディカルマナー入門	1・2・3・4前		2			○						1				
医療福祉教養講義	1・2・3・4後		2			○						1					
外国語系	医学英語Ⅰ	1前	/	1			○							1			
	医学英語Ⅱ	1後		1			○							1			
	英語（基礎）	1・2・3・4前			1			○						1			
	英語（応用）	1・2・3・4後			1			○						1			
	英会話	1・2・3・4後			1				○					1			
	韓国語*	1後			2			○						1			
	中国語*	1後			2			○						1			
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前			1			○						1			
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1			○						1			
	日本語Ⅲ	1・2・3・4前			1			○						1			
日本語Ⅳ	1・2・3・4後		1			○						1					
小計（41科目）（留学生+4科目）				-	-	16(20)	48	-	-	-	1	3	1	-	-	42	
専門教育科目	解剖学Ⅰ	1前	/	1			○							1	共同		
	解剖学Ⅱ	1後		1			○							1			
	解剖学実習	1通年		1						○				1			
	生理学Ⅰ	1前		1				○						1			
	生理学Ⅱ	1後		1				○						1			
	生理学実習	1後		1						○				3			
	病理学	1後		1				○				1		1			
	臨床医学概論	2前		2				○						1			
	公衆衛生学	1・2・3後			2			○				1		1			
	リハビリテーション医学	1後		1		2		○						1			
	内科学Ⅰ	2前		1				○				1		1			
	内科学Ⅱ	2後		1				○				1		1			
	神経学Ⅰ	2前		1				○						1			
	神経学Ⅱ	2後		1				○						1			
	整形外科Ⅰ	2前		1				○				1		1			
	整形外科Ⅱ	2後		1				○						1			
	精神医学Ⅰ	2前		1				○						1			
	精神医学Ⅱ	2後		1				○						1			
	小児科学	2前		1				○						1			
	老年学	2後		1				○						1			
	人間発達学	1前		2				○						1			
	臨床心理学概論	2前		2				○					1	1			
	救急医学	2前		1				○						1			
	基礎薬理学	1後		1				○						1			
	栄養学	1・2・3後			1			○						1			
	カウンセリング論	1・2・3前			1			○						1			
	リスクマネジメント論	3前			2			○				1		1			
	ケアマネジメント論	1・2・3前			1			○						1			
	医用画像診断学	3後		1				○						1			
	運動学Ⅰ	1前		1				○						1			
	運動学Ⅱ	1後		1				○					1	1			
	運動生理学	2前		1				○				1		1			
運動学実習	2前	1						○				1					
リハビリテーション概論	1前	2				○				1	1	5					
保健医療福祉制度論	1・2・3前		2			○				1		1					
関連職種連携論	2後	1				○						3					
関連職種連携ワーク	3前	1						○			1	2					
小計（37科目）				-	-	35	9	-	-	-	4	2	1	2	-	40	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考				
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外を除く教員			
専門教育科目(128科目)	作業療法概論	1前		1			○			1								共同 共同 共同 オムニバス	
	作業学概論	1前		1			○			1									
	作業応用論	2・3後			1			○			1	3	1	3					
	卒業研究Ⅰ	3後		2				○			1	3	1	3					
	卒業研究Ⅱ	4後		2				○			1	3	1	3					
	リハビリテーション管理論	3前		1				○									1		
	リハビリテーション倫理学	2後		1				○											
	作業療法総括論	4後		1				○			1	3	1	3					
	作業工程技術学・基礎論	1前		1					○										
	作業工程技術学・応用論	1後		1					○										
	作業分析学Ⅰ(基礎)	2前		1				○					1						
	作業分析学Ⅱ(応用)	2後		1				○			1	3	1	3					
	生活機能論	2前		1				○											
	作業療法評価学概論	2前		1				○				1							
	作業療法評価学各論	2後		1				○				1							
	基礎運動機能評価法	2後		1				○				1		1					
	高次脳機能評価法	2後		1				○				1							
	作業療法評価学演習	2後		1				○		○		1							
	作業療法諸理論	2・3後			1			○				2		1					
	中枢神経疾患作業療法Ⅰ(総論)	3前		1				○				1							
	中枢神経疾患作業療法Ⅱ(各論)	3後		1				○				1							
	中枢神経疾患作業療法Ⅲ(特論)	3後			1			○				1							
	高次脳機能障害作業療法	3前		1				○				1							
	老年期作業療法	3前		1				○						1					
	運動器疾患作業療法	3前		1				○											1
	内科系疾患作業療法	3前		1				○				1							
	精神疾患作業療法Ⅰ(総論)	3前		1				○				1							
	精神疾患作業療法Ⅱ(各論)	3前		1				○				1							
	精神疾患作業療法Ⅲ(特論)	3後			1			○				1							
	小児作業療法Ⅰ(総論)	3前		1				○						1					
	小児作業療法Ⅱ(各論)	3後		1				○						1					
	小児作業療法Ⅲ(特論)	3後			1			○						1					
	作業療法適用学概論	2後		1				○				1							
	コミュニケーション技術論	2後		1				○				2		2					
	生活技術学Ⅰ(総論)	3前		1				○						1					
	生活技術学Ⅱ(各論)	3後		1				○				1							
	障害代償学概論	2後		1				○						1					
	自助具・福祉機器適用論	3前		1				○			1								
	装具・副子適用論	3後		1				○											1
	義肢適用論	3前		1				○											1
	バリアフリー論	2前		1				○											1
	住環境整備論	3後		1				○											1
	地域生活作業療法論	2前		1				○			1	1							1
	地域生活支援論	1後		1				○											1
	職業関連技術学	3後		1				○				1							
	基礎実習Ⅰ	1前		1				○		○	1	3	1	3					共同
	基礎実習Ⅱ	1後		1				○		○	1	3	1	3					共同
	地域作業療法実習	3前		1				○		○	1	3	1	3					共同
	評価実習	3後		4				○		○	1	3	1	3					共同
	総合実習	4前		16				○		○	1	3	1	3					共同
小計(50科目)		-	-	65	5	-	-			1	3	1	3	-	2				
合計(128科目)		-	-	116	62	-	-			4	3	1	3	-	68				
合計(132科目)(留学生)		-	-	120	62	-	-			4	3	1	3	-	69				
学位又は称号	学士(作業療法学)			学位又は学科の分野				保健衛生学関係(リハビリテーション関係)											
卒業・修了要件及び履修方法								授業期間等											
卒業要件124単位以上 総合教育科目：必修16単位(人間系：2単位、社会系：5単位、自然・情報系：6単位、総合系：1単位、外国語系：2単位)。これ以外に総合教育科目から5単位以上選択(「韓国語」「中国語」より2単位以上選択必修含む)。留学生は、必修20単位(人間系：2単位、社会系：5単位、自然・情報系：6単位、総合系：1単位、外国語系：2単位、日本語科目：4単位)。これ以外に総合教育科目から1単位以上選択。 専門教育科目：必修100単位(専門基礎科目：35単位、専門科目：65単位)。これ以外に専門教育科目全体から3単位以上選択。(履修課目の登録の上限 49単位(年間))								1学年の学期区分			2期								
								1学期の授業期間			15週								
								1時限の授業の標準時間			90分								

別記様式第2号（その2の1）

教 育 課 程 等 の 概 要															
(医療学部 視能訓練学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	主要 授業 科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人間系	心理学	1前	/	2			○							1	
	哲学	1・2・3・4前		1			○							1	
	倫理学	1・2・3・4後		1			○							1	
	文学	1・2・3・4前		1			○							1	
	教育学	1・2・3・4後		2			○							1	
	教育方法論	1・2・3・4後		2			○							1	
	コミュニケーション概論	1・2・3・4後		2			○							1	
	死生学-死を通して生を考える	4前		2			○							1	
	雑談と傾聴-話す力と聞く力-	1・2・3・4前		2			○							1	
	日本近現代史	1・2・3・4後		2			○							1	
宗教学	1・2・3・4後	2			○							1			
社会系	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	2前	/	1			○							3	共同
	海外保健福祉事情Ⅱ（実習）	2・3前・後		2				○		1		1	1	13	
	アジア比較文化論	1・2・3・4前		1			○							1	
	法学	1・2・3・4前		1			○							1	
	経済学	1・2・3・4後		1			○							1	
	社会学	1・2・3・4前		1			○							1	
	国際医療福祉論	1・2・3・4後		2			○							1	
	社会保障制度論	1前		2			○			1				1	
ボランティア論	1・2・3・4後	1			○							1			
ボランティア実践	1・2・3・4後	1					○	1				5			
自然・情報系	生物学	1前	/	2			○							1	
	生化学	1前		2			○							1	
	物理学	1・2・3・4前		2			○							1	
	データサイエンス	1後		2			○							1	
	医療とICT	1後		2			○							1	
	生命倫理	1後		2			○							1	
	人間工学	1・2・3・4前		2			○							1	
医学・医療史	1・2・3・4前	2			○							1			
健康系	健康科学理論	1・2・3・4前	/	1			○							1	
	健康スポーツ実践	1・2・3・4後		1				○						1	
総合系	大学入門講座	1前	/	1			○							3	共同
	メディカルマナー入門	1・2・3・4前		2			○							1	
	医療福祉教養講義	1・2・3・4後		2			○			1				1	
外国語系	医学英語Ⅰ	1前	/	1			○							1	
	医学英語Ⅱ	1後		1			○							1	
	英語（基礎）	1・2・3・4前		1			○							1	
	英語（応用）	1・2・3・4後		1			○							1	
	英会話	1・2・3・4後		1			○		○					1	
	韓国語*	1後		2			○		○					1	
	中国語*	1後		2			○		○					1	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1			○		○					1	
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1			○		○					1	
	日本語Ⅲ	1・2・3・4前		1			○		○					1	
日本語Ⅳ	1・2・3・4後	1			○		○					1			
小計（41科目）（留学生+4科目）		-	-	6(20)	48	-	-	-	-	3	1	1	1	-	43
専門教育科目	解剖学	1前	/	1			○							1	共同
	生理学	1前		1			○							1	
	生理学実習	1後		1					○		1			3	
	病理学	1後		1			○							1	
	臨床医学概論	2前		2			○							1	
	公衆衛生学	1・2・3後			2					1				1	
	リハビリテーション医学	1後			1									1	
	内科学Ⅰ	2前		1			○							1	
	内科学Ⅱ	2後		1			○							1	
	神経学Ⅰ	2前		1			○				1				
	神経学Ⅱ	2後		1			○				1				
	精神医学Ⅰ	2前		1			○							1	
	精神医学Ⅱ	2・3後			1									1	
	小児科学	2前		1			○							1	
	老年学	2後		1			○							1	
	人間発達学	1前		2			○							1	
	臨床心理学概論	2前		2			○							1	
	救急医学	2・3前		1			○							1	
	基礎薬理学	1・2後		1			○							1	
	栄養学	1・2・3後			1									1	
カウンセリング論	1・2・3前		1									1			
視覚と高次脳	2後	1			○							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年度	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		基幹教員以外の教員	
専門基礎科目(つづき)	視機能概論	1前	1				○			1							
	視器解剖学	1後	1				○			1							
	眼薬理学	3後	1				○								1		
	視覚生理学Ⅰ(基礎)	1後	1				○			1			1				
	視覚生理学Ⅱ(応用)	2前	1				○					1					
	視覚生理学Ⅲ(実践)	3前	1				○					1					
	視覚情報処理Ⅰ(視知覚)	1後	1				○						1				
	視覚情報処理Ⅱ(視覚認知)	2前	1				○							1			
	リスクマネジメント論	3前		2			○									1	
	ケアマネジメント論	1・2・3前		1			○									1	
	リハビリテーション概論	1前	2				○			1				1		6	
	保健医療福祉制度論	1・2・3前		2			○									1	
	関連職種連携論	2後	1				○						1			3	
	関連職種連携ワーク	3前	1				○		○	1	1	1	1			18	共同
	保育	1後	2				○									1	
聴覚障害とコミュニケーション	1前	2				○									1		
視覚障害とコミュニケーション	2後	2				○									1		
小計(39科目)	—	—	37	11	—	—	—	—	—	4	1	2	2	—	41		
専門教育科目(つづき)	視能矯正学Ⅰ(眼位・眼球運動)	1前後	2				○					1					
	視能矯正学Ⅱ(両眼視機能)	2前	2				○					1					
	生理光学	1前	1				○						1				
	屈折矯正Ⅰ(基礎と理論)	1前	1				○						1				
	屈折矯正Ⅱ(実践)	3前後	1				○								1		
	視能矯正学総括論Ⅰ(基礎)	3前	1				○							1			
	視能矯正学総括論Ⅱ(応用)	4後	1				○					1					
	卒業研究Ⅰ	3前後	2				○			4	1	2	2				共同
	卒業研究Ⅱ	4前後	2				○			4	1	2	2				共同
	視能矯正学特論	3・4後		1			○						1				
	視能検査学基礎	1前	1		1		○						1				
	視能検査学Ⅰ(視力検査)	1後	2				○						1				
	視能検査学Ⅱ(視野検査)	2後	2				○						1				
	視能検査学Ⅲ(前眼部検査)	2前	2				○			1							
	視能検査学Ⅳ(後眼部検査)	2後	2				○			1							
	眼科画像解析学	3前	1				○								1		
	視能検査評価学	3後	1				○								1		
	視能検査学総合演習	4前	1				○		○	1	1	2	2	1			共同
	視能検査学特論	3・4後		1			○							1			
	視能障害学総論	1後	1				○								1		
	視能障害学Ⅰ(神経眼科・緑内障)	2前	1				○			1							
	視能障害学Ⅱ(前眼部疾患)	2後	1				○			1							
	視能障害学Ⅲ(黄斑部・網膜疾患)	3前	1				○			1							
	文献読解と研究実践法	3前	1				○		○							1	
	眼科診療コミュニケーション学	3後		1			○		○							1	
	OSCEⅠ(医療面接)	3前	1				○		○							1	
	OSCEⅡ(視能検査)	3後	1				○		○							1	
	視能障害学特論	3・4後		1			○					1					
	視能訓練学基礎Ⅰ(弱視)	2前	1				○					1					
	視能訓練学基礎Ⅱ(斜視)	2後	1				○					1					
	視能訓練学基礎Ⅲ(眼振)	3後	1				○								1		
視能訓練学応用Ⅰ(弱視)	2前	1				○					1						
視能訓練学応用Ⅱ(斜視)	2後	1				○					1						
視能訓練学実践Ⅰ(弱視)	2後	1				○		○			1		1				
視能訓練学実践Ⅱ(斜視)	3前	1				○		○							1		
視能訓練学発展	3前	1				○		○							1		
ロービジョン学Ⅰ(理論)	3前	1				○		○					1				
ロービジョン学Ⅱ(実践)	3後	1				○		○					1				
視能訓練学特論	3・4後		1			○		○			1		2				
臨地実習Ⅰ	3前後	5		1		○		○	1	1	2	2	2			共同	
臨地実習Ⅱ	4前	11				○		○	1	1	2	2	2			共同	
小計(41科目)	—	—	58	5	—	—	—	—	—	4	1	2	2	—	2		
合計(121科目)	—	—	111	64	—	—	—	—	—	4	1	2	2	—	72		
合計(125科目)(留学生)	—	—	115	64	—	—	—	—	—	4	1	2	2	—	73		
学位又は称号	学士(視能訓練学)		学位又は学科の分野		保健衛生学関係(リハビリテーション関係)												
卒業・修了要件及び履修方法					授業期間等												
卒業要件124単位以上 総合教育科目：必修16単位(人間系：2単位、社会系：5単位、自然・情報系：6単位、総合系：1単位、外国語系：2単位)。これ以外に総合教育科目から5単位以上選択(「韓国語」「中国語」より2単位以上選択必修含む。)。留学生は、必修20単位(人間系：2単位、社会系：5単位、自然・情報系：6単位、総合系：1単位、外国語系：2単位、日本語科目：4単位)。これ以外に総合教育科目から1単位以上選択。 専門教育科目：必修95単位(専門基礎科目：37単位、専門科目：58単位)。これ以外に専門教育科目全体から8単位以上選択。(履修課目の登録の上限 49単位(年間))					1学年の学期区分		2期										
					1学期の授業期間		15週										
					1時限の授業の標準時間		90分										

教 育 課 程 等 の 概 要															
(看護学部 看護学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間系	心理学	1・2・3・4前		2			○							1	
	哲学	1・2・3・4前		1			○							1	
	倫理学	1・2・3・4後		1			○							1	
	文学	1・2・3・4前		1			○							1	
	教育学	1・2・3・4後		2			○							1	
	教育方法論	1・2・3・4後		2			○							1	
	コミュニケーション概論	1後	2				○							1	
	発達心理学	1・2・3・4前		2			○							1	
	死生学-死を通して生を考える-	4前		2			○							1	
	社会系	海外保健福祉事情Ⅰ（講義）	3前		1			○			3	1			
海外保健福祉事情Ⅱ（実習）		3前		2							1	1			11
経済学		1・2・3・4後		1			○								1
社会学		1・2・3・4前		1			○								1
国際医療福祉論		1・2・3・4後		2			○								1
社会保障制度論		1前	2				○								1
ボランティア論		1・2・3・4後		1			○								1
ボランティア実践		1・2・3・4後		1					○	1					5
メディカルマナー入門		1・2・3・4前		2			○								1
文化人類学		1・2・3・4前		2			○								1
日本国憲法		1・2・3・4後		2			○								1
手話入門		1・2・3・4後		2			○								1
雑談と傾聴-話す力と訊く力-		1・2・3・4前		2			○								1
日本近現代史		1・2・3・4後		2			○								1
宗教学		1・2・3・4後		2			○								1
医学・医療史	1・2・3・4前		2			○								1	
自然・情報系	生物学	1・2・3・4前		2			○								1
	物理学	1・2・3・4前		2			○								1
	統計学	2後	2				○								1
	医療とICT	1・2・3・4前		2			○								1
	生命倫理	1後	2				○								1
	食と人間	1後		1			○								1
	人間工学	1・2・3・4前		2			○								1
	情報処理Ⅰ（基礎）	1・2・3・4前		1			○								1
	情報処理Ⅱ（応用） ※	1後		1			○								1
	体育・健康系・総合系	健康科学理論	1・2・3・4前		1			○							
健康科学実践		1・2・3・4後		1				○							1
大学入門講座（看護）		1前		1			○			3		4	2	1	共同
医療福祉教養講義	1・2・3・4後		2			○								1	
外国語系	医学英語Ⅰ（基礎）	1前		1			○								1
	医学英語Ⅱ（応用）	1後		1			○								1
	英語（基礎）	1・2・3・4前		1			○								1
	プレゼンテーション英語	1・2・3・4後		1			○								1
	英会話	1・2・3・4後		1				○							1
	韓国語	1・2・3・4後		1			○								1
	中国語	1・2・3・4前		1			○								1
	日本語Ⅰ（留学生のみ）	1前		1			○								1
	日本語Ⅱ（留学生のみ）	1後		1			○								1
	日本語Ⅲ（留学生のみ）	1前		1			○								1
日本語Ⅳ（留学生のみ）	1後		1			○								1	
小計（45科目）（留学生+4科目）	-	-	18	55	-	-	-	-	3	1	4	2	1	42	
専門教育科目	人体の構造と機能	1前		2			○								1
	疾病の成り立ち（病理学）	1後		2			○								1
	疾病・治療Ⅰ（呼吸器疾患・感染症疾患・循環器疾患）	1後		1			○			1					オムニバス
	疾病・治療Ⅱ（消化器疾患・歯科口腔・代謝と内分泌）	1後		1			○			2					オムニバス
	疾病・治療Ⅲ（血液疾患・皮膚・膠原病・腎泌尿器疾患）	2前		1			○			1					オムニバス
	疾病・治療Ⅳ（脳神経疾患・運動器疾患・感覚器疾患）	2前		1			○								オムニバス
	疾病・治療Ⅴ（成長・発達と女性の疾患、成長・発達と子どもの疾患）	2前		1			○			1					オムニバス
	疾病・治療Ⅵ（精神、老年期疾患、外傷と救急疾患）	2後		1			○								オムニバス
	臨床薬理学	1後		2			○								1
	病態栄養学	1後		2			○								1
	免疫と感染	1前		2			○								1
	公衆衛生学	1後		2			○								1
	疫学 ※	2前		2			○								1
	保健統計学 ※	2前		1			○								1
	保健医療福祉制度論 ※	1後		2			○					1			1
	保健医療福祉行政論 ※	2後		2			○								1
	リスクマネジメント論	3前		2			○								1
	ケアマネジメント論	3前		1			○								1
カウンセリング論	3前		1			○								1	
関連職種連携論	2後		1			○				1	1			2	
関連職種連携ワーク	3前		1				○		2	2	5	1	1	11	
関連職種連携実習	4前		1				○		1	2	2			共同	
小計（22科目）	-	-	25	6	-	-	-	-	7	5	7	1	1	28	

授 業 科 目 の 概 要				
(大学院保健医療学研究科保健医療学専攻修士課程 (M))				
科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共 通 科 目	研究倫理特論		研究に携わる者としての研究倫理に関する基本原則を学ぶとともに、その理念にもとづいて研究を実施するために必要な、科学的合理性や対象者保護について学ぶ。具体的には、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」をはじめとする各種指針・ガイドラインを読み解き、それに基づいて研究を計画・実践するために必要なスキルを教示する。	
	医療統計特論		医療・福祉・看護・公衆衛生分野の量的研究の基礎方法論である医療統計学について、「統計用語」の意味を理解し、データの分析・解釈方法等の基礎知識を身につけ、統計ソフトを用いた統計的手法の習得と共に、その統計方法の目的、統計結果の解釈などについて正しく理解することを目的としている。	
	データ解析特論		これまでにデータ分析の経験がない方や統計学にあまりなじみの無い方を対象に、Excel、統計ソフトなどを用い、多様なデータを分析・解釈するために有用な統計的指標の基礎知識の理解から、データの特性に応じた分析方法に関する発展知識に至る分析手法を理解する。また、統計的仮説を理解し、統計手法の使い分け、データの分析や結果の解釈ができる。	
	研究方法特論		健康科学に関連する諸分野では、質的研究による学術的・実践的貢献が期待できる領域が広がっています。この講義では、質的研究とは何か (what)、なぜ質的研究が必要か (why)、どのようにして質的研究を行うか (how) について学びます。それによって、質的研究に携わったり、質的研究の成果を実務に活用したりする際に必要となる基礎的な知識やスキルを身につけることを目指します。	
	社会調査法特論		本講義では、社会調査の結果を見誤らないための必要な統計知識や、データの分析スキル、分析結果の解釈方法などの習得を目指す。社会に公開された社会調査データを正しく読み解くためには、社会調査の基本的な考え方やその方法、分析手法についての理解が不可欠である。調査結果やデータを読む上で注意すべき点を明らかにしながら、社会調査を実施するための一連のプロセスについて理解を深める。また、社会に公開されているオープンデータをExcel、Business Intelligenceツール、統計ソフトなどを用いて多面的な分析を行い、その結果の解釈などを行える力を身につけることを目的としている。	
	組織運営管理特論		現在では病気・病態が多様化し、医療全体が高度化するなか、多職種がそれぞれの専門性を発揮しながら連携するチーム医療に変わってきている。病院の組織は基本的には、診療部門、看護部門、医療技術部門（薬剤課、検査科、放射線科、栄養科、リハビリテーション科など）、事務部門の4つから成り立っている。そのほか、情報管理、経営企画、医療相談など、さまざまな専門領域の担当がある。ここでは各部門の専門性と組織運営での目標や目的について解説する。さらに厚労省の施策による難病の医療提供体制や認知症の患者と家族を支援するため各県に設置された認知症疾患医療センターについても学ぶ。	
	多職種連携特論		医療福祉分野において、利用者のニーズに応えられる医療やケアを提供するためには各々の専門的立場から質の高いサービスを提供すると同時に、関連職種連携が不可欠である。本科目では関連職種連携を自ら行動・実践できるよう、講義・演習をとおして、他職種の専門性の理解、多職種間でのコミュニケーション能力を身につける。	
	臨床実習指導特論		本授業では、医療福祉領域の臨床実習教育に関する内容を中心に授業を進めていきます。前半では臨床実習の位置づけや目的、実習生受け入れの準備、指導の方法論を扱い、後半で理学療法及び作業療法分野での臨床実習の実際を扱います。終盤では卒業教育への応用について解説します。	
	教育方法学特論		本授業では、医療福祉領域の教育方法に関連する内容を中心に説明していきます。とくに、効果的な教育を行うための理論や技法を学習します。具体的には、「学習目標の設定」「課題分析の手法」「教育評価の理論」等を扱う予定です。授業の後半は、演習形式で授業設計や模擬授業の課題に取り組んでもらう予定です。	
	教育評価学特論		教育活動を支える重要な一要素である評価の問題について、その意義を再認識し、教育における評価の適切な在り方について学習することを目的とする。具体的には教育評価の理論についての知識を習得し、教育的な評価の方法について理解する。	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
共通科目 保健医療分野	科学的思考		医療の現場は医学の最先端を実践する場であると同時に、直接人に接する人間的な触れ合いの場でもある。したがって、そこではいわゆる文系・理系の枠を超えた「融和的な考え方」を大切にしなければならない。しかし、今後の医療の発展や次世代の医療について考えると、「科学的な思考法」を身につけていることは貴重である。この講義では、その「科学的思考」のあり方や鍛え方について考えてゆこう。まずは、歴史的に重要な科学的方法論、思考法を俯瞰し、ついで時代を画したものの見方、考え方の変化について考察する。その上で、医療科学の論文を読み、考え、構成し、書き上げる、その力を養う。また、すぐれた論文を見極める目を養う。総じて、「科学的思考に長けた医療人」となることをめざす。	
	感覚と心理特論		人間の情報処理機構において、感覚そして知覚は、根幹をなす領域である。いわゆる五感以外にも前庭感覚や内臓感覚など重要であるが知覚が少ない感覚がある。近年、ICT機器活用によるVRやARによる体験が、感覚と心理についての関心を再び呼び起こしている。一方、感覚・知覚が日常生活で大きな影響を及ぼす行動に、自動車運転があり、加齢や疾患に伴う運転リハビリテーションも重要なテーマである。感覚・知覚を発端として、運転リハビリテーション実践への応用法を学ぶ。	
	認知神経科学特論		非侵襲的脳機能検査法(脳波、脳磁図、誘発電位、機能的MRI)と非侵襲的脳刺激法(経頭蓋磁気刺激、経頭蓋直流・交流電気刺激)を用いた認知神経科学の最先端について理解を深めることを目的とする。主な内容は、脳の仕組み(視覚、聴覚、体性感覚、運動システム)を理解し、主な脳疾患(認知症、パーキンソン病、自閉スペクトラム症、てんかん)の病態生理を学ぶことにある。	
	医療栄養学特論		病院、福祉施設、学校、その他の施設における管理栄養士・栄養士の役割について認識し、日本における栄養・食事の問題点と現状を理解するとともに、その改善方法についても学習する。さらに、基盤となる各ライフステージごとの栄養の特長と重要性、栄養障害で生じる病態・疾病について概説する。また、各栄養補給法とその適応疾患、薬物と食品(栄養)の相互作用についても説明する。	
	認知心理学特論		人間にとって、記憶、注意、遂行機能などの高次脳機能は、生活において必須の機能であるが、加齢や疾患の影響で変化する。また逆に、高次脳機能の変化は、疾患の予兆となる症状でもある。本講義においては、加齢に伴う高次脳機能の変化と疾患による変化の峻別法を中心に、特に神経変性疾患や脳卒中との関わりを講義する。	
	脳と科学		21世紀は「脳の世紀」といわれる。多様化する現代の情報社会の中で、人々はさまざまに活動し、努力し、迷い、悩む。人が時に「悩む」のは、高度な「脳」を持つからでもある。脳は情報を操る臓器だが、私たちは未だ「脳情報」のしくみを知らない。生命情報は20世紀後半に解き明かされた。今世紀、いつか脳情報の実態が解明されれば、発達障害や精神疾患の根本的な理解が進むだろう。医療に限らず、脳は人の生き様にも直結する。脳科学の知識や考え方は、今すべての医療人にとって必須のものとなっている。この講義では、現代脳科学を俯瞰しつつ、脳科学的視点から「人間を見つめる目を養う」ことを主題とする。	
	国際保健医療特論		世界の保健や医療福祉に関わる制度は国によって大きく異なる。本講義では、1) 国際的な医療福祉制度の歴史と経緯を基盤とした日本の医療福祉制度の変遷、2) 少子高齢化と財政負担の抑制という共通の政策課題をもつ先進諸国における高齢者介護制度の現状と課題、3) アジア諸国での医療福祉の現状を基にその問題点を明らかにし、わが国をはじめとする先進国の果たす役割、4) 保健医療の国際協力の現状と将来、について学ぶ。	
	高次脳機能特論		リハビリテーションで問題となる高次脳機能障害を考えるうえで必要な高次脳機能の基礎を、神経心理学および画像診断学から学び、疾患の原因を考察できるようにする。具体的には意識や注意障害、記憶障害、認知症、失行、失認などの高次脳機能障害の症状、発現メカニズム、評価・診断について学ぶ。	
	予防医学特論		予防医学の理論と技術について全体像を概観した上で、予防医学がこれまで果たした成果と今後の適用分野に関して学習する。また、人間が健康の保持・増進・回復を目的として行う保健行動、学校・職場・地域社会における健康管理・保健活動について概説する。予防医学により、予防・改善が見込まれる疾患・病態、特に生活習慣病について、そのメカニズム、治療法・予防法について概説する。	

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考	
専門	理学療法	理学療法学講義Ⅰ（基礎）	理学療法治療には、運動療法、物理療法などがある。運動療法には、体系化された疾患別運動療法、運動要素別運動療法、特殊な運動療法などがある。これらの治療法について幅広い知識と技術の修得することである。	共同	
		理学療法学講義Ⅱ（応用）	理学療法の基礎で重要なことは、運動学、解剖、生理学である。運動療法について基礎医学を考慮して治療法について幅広い知識と技術の修得することである。	共同	
		理学療法学演習Ⅰ（基礎）	理学療法について新しい研究、各自の研究内容について発表し、研究方法、結果の解釈などについて修得する。特に応用理学療法について学ぶ。	共同	
		理学療法学演習Ⅱ（応用）	理学療法についての新しい知見や各自の論文に関わる研究内容を発表し、研究方法や結果の解釈の仕方などを修得する。	共同	
		理学療法学研究指導Ⅰ（研究計画）	修士論文のテーマによる研究計画の検討と立案。 修士論文作成のために指導教員のもと研究を推進する。 理学療法学分野の研究課題を探索し、研究計画書を作成するまでのプロセスを修得する。	共同	
		理学療法学研究指導Ⅱ（データ収集）	修士論文のテーマによるデータ収集。 先行文献をコレクションし、研究テーマ及び仮説作業を行う。 具体的な研究計画に沿って、データ収集を行い、論文を完成させる過程を指導する。	共同	
		理学療法学研究指導Ⅲ（データ分析）	修士論文のテーマによる実験データの解析を指導する。 修士論文における実験データの解析を指導する。	共同	
		理学療法学研究指導Ⅳ（論文作成）	収集したデータを解釈し、得られた知見に基づいて学術論文を完成させる。 得られた結果とその解釈をもとに論文を完成させる。	共同	
	科目	作業療法	作業療法学講義Ⅰ（基礎）	作業療法において、身体機能と精神機能ならびに生活モデルなど、研究の対象は多岐にわたる。これらの研究対象について、基礎的な知識を修得する。	共同
			作業療法学講義Ⅱ（応用）	作業療法において、身体機能と精神機能ならびに生活モデルなど、研究の対象は多岐にわたる。これらの研究対象について、研究の実践を含む応用的な知識を修得する。	共同
			作業療法学演習Ⅰ（基礎）	総説論文の抄読を通じ、研究領域に関連するテーマが抱える課題や問題点などを客観的・俯瞰的に理解する。	共同
			作業療法学演習Ⅱ（応用）	原著論文の抄読を通じ、研究領域に関連するテーマの最新動向や技法などを具体的に理解する。	共同
			作業療法学研究指導Ⅰ（研究計画）	作業療法学分野の研究課題を探索し、指導教員のもと、研究計画書を作成するまでのプロセスを修得する。	共同
			作業療法学研究指導Ⅱ（データ収集）	研究計画書に基づき、先行研究レビュー、研究テーマ及び仮説の設定、データ収集を行う。	共同
作業療法学研究指導Ⅲ（データ分析）			研究計画書に基づき、適切な解析手法を用いてデータ分析を実施する。	共同	
	作業療法学研究指導Ⅳ（論文作成）	収集したデータを解釈し、得られた知見に基づいて修士論文を完成させる。	共同		

科目区分	授業科目の名称	主要授業科目	講義等の内容	備考
専門科目 （看護学）	視能訓練学講義Ⅰ（基礎）		視覚を司る視機能の基本的特性・メカニズムおよび眼科領域における様々な検査結果の解釈・解析に関する基本的知識を理解する。	共同
	視能訓練学講義Ⅱ（応用）		視能訓練学講義Ⅰ（基礎）に引き続き、視覚を司る視機能の基本的特性・メカニズムおよび眼科領域における様々な検査結果の解釈・解析に関する知識を理解をさらに深める。そして、実際に各検査の測定について実習形式で学ぶことで、今後実施する研究の視点・手法に繋げる。	共同
	視能訓練学演習Ⅰ（基礎）		視覚科学に関する様々な分野の最新の動向および研究の視点・手法について学び、今後の研究の展望について考える。視覚科学に関する様々な分野の最新の動向および研究の視点・手法について学び、今後の研究の展望について考える。視覚科学に関する様々な分野の最新の動向および研究の視点・手法について学び、今後の研究の展望について考える。	共同
	視能訓練学演習Ⅱ（応用）		各自の研究に直接関連する領域およびその関連領域に関する英語文献を数多く読み、論点を整理・理解し、考察の組み立て方を学ぶ。	共同
	視能訓練学研究指導Ⅰ（研究計画）		修士論文作成のために、指導教員の指導のもとに研究を推進する基礎を構築する。視能訓練学分野の研究課題を探索し、研究計画書作成までのプロセスを学ぶ。	共同
	視能訓練学研究指導Ⅱ（データ収集）		修士論文作成のために、指導教員の指導のもとに研究を推進する。視能訓練学研究指導Ⅰ（研究計画）に基づき、研究を推進する。	共同
	視能訓練学研究指導Ⅲ（データ分析）		修士論文作成のために、指導教員の指導のもとに研究を推進する。視機能療法学分野の研究課題についてデータ分析を実践することができる。	共同
	視能訓練学研究指導Ⅳ（論文作成）		修士論文作成のために、指導教員の指導のもとに研究を推進する。視機能療法学研究指導（修士）Ⅰ（研究計画作成）、Ⅱ（データ収集）、Ⅲ（データ分析）を踏まえ、研究を推進する。	共同
	看護学講義Ⅰ（基礎）		看護理論の変遷と諸理論の特徴について知識を深め、諸理論と看護現象との関係について理解し、各看護学領域の実践、教育、研究に活用するための視点を探求する。また、各自の領域における看護現象（自己の看護体験や事例）を大理論・概念モデル・中範囲理論などを用いて考察する。	共同
	看護学講義Ⅱ（応用）		臨床看護学領域（基礎・成人・母子・精神・在宅）に関する様々な対象者および家族への看護を実践するために必要な概念・理論を理解するとともに、臨床看護に関わる現代的課題について論文をクリティークし、自己の研究テーマに応用する。	共同
	看護学演習Ⅰ（基礎）		看護専門職として研究活動を続けていく科学的思考と研究方法の基盤を理解する。臨床や地域をはじめとする他の関連領域における問題解決に向けた科学的アプローチとともに、研究活動の基盤となる分析手法や倫理的配慮を学ぶ。	共同
	看護学演習Ⅱ（応用）		対象者の健康レベルおよび健康問題の特徴などに焦点をあてて、各領域の確かな文献検索と研究論文をクリティークすることにより当該論文の研究手法への理解を深め、自己の研究テーマに関連付ける。	共同
	看護学研究指導Ⅰ（研究計画）		修士論文作成のために指導教員のもと研究計画の検討し立案する。看護学分野の研究課題を探索し、研究計画書を作成するまでのプロセスを修得する。	共同
	看護学研究指導Ⅱ（データ収集）		看護学研究指導Ⅰによる研究計画書に基づいた研究の実践について学ぶ。各自の研究テーマに基づいて、仮説の設定、データ収集を行う。	共同
	看護学研究指導Ⅲ（データ分析）		研究計画書に基づき、適切な解析手法を用いてデータ分析を実施する。データ分析に当たっては適宜ディスカッションを行い、分析の妥当性を検討していく。	共同
看護学研究指導Ⅳ（論文作成）		看護学研究指導ⅠからⅢまでの研究成果を基に、研究の結果、考察、結論を記述できる能力を養い、修士論文を完成する。	共同	